

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 九州財務局長

**【提出日】** 平成23年11月11日

**【四半期会計期間】** 第33期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

**【会社名】** 株式会社ヒガシマル

**【英訳名】** HIGASHIMARU CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 東 紘一郎

**【本店の所在の場所】** 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地

**【電話番号】** (099) 273 - 3859 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 管理部長 木通 昌生

**【最寄りの連絡場所】** 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地

**【電話番号】** (099) 273 - 3859 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 管理部長 木通 昌生

**【縦覧に供する場所】** 証券会員制法人福岡証券取引所  
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第32期 第2四半期 連結累計期間		第33期 第2四半期 連結累計期間		第32期	
		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成22年3月31日	自 平成22年4月1日 至 平成22年3月31日
売上高	(千円)	4,597,407		4,723,153		8,487,819	
経常利益	(千円)	175,390		66,887		87,384	
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( )	(千円)	51,881		18,158		61,984	
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	112,603		4,055		54,346	
純資産額	(千円)	4,126,312		4,146,279		4,184,569	
総資産額	(千円)	9,880,313		9,712,081		8,973,763	
1株当たり四半期(当期) 純利益又は四半期純損失( )	(円)	11.03		3.86		13.17	
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)						
自己資本比率	(%)	41.8		42.7		46.6	
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	661,086		224,888		258,241	
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	304,016		302,070		83,019	
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	304,050		28,820		212,408	
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	423,650		564,810		508,201	

回次		第32期 第2四半期 連結会計期間		第33期 第2四半期 連結会計期間	
		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	18.12		1.56	

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第32期第2四半期連結累計期間及び第32期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第33期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第32期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社、以下同じ。）において営  
まれている事業の内容について、重要な変更はありません。  
また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当社及び当社の連結子会社であるHIGASHIMARU VIETNAM CO., LTDは、HIGASHIMARU VIETNAM CO., LTDの所有する有形・無形固定資産の一式について、平成23年8月23日付けで譲渡に関する基本契約を締結し、現在交渉中であります。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の急激な落ち込みからサプライチェーンの復旧に伴って経済活動は急回復しましたが、海外景気の減速懸念や金融市場の混乱などにより景気は緩やかな伸びに止まっております。

このような状況のなか、水産事業では飼料の販売量が減少し、養殖用稚魚等の販売が伸び、食品事業では震災後の一時的な品薄に対応して即席めん類の増産を行った結果、売上高は47億23百万円と前年同四半期と比べ1億25百万円（2.7%）の増収となりました。損益面につきましては、売上高の増収と経費削減の効果はありましたが、原材料及び運賃等の値上がりの影響が大きく、営業利益は1億18百万円と前年同四半期と比べ63百万円（34.8%）の減益、経常利益は66百万円と前年同四半期と比べ1億8百万円（61.9%）の減益、四半期純損失は18百万円（前年同四半期は51百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 水産事業

水産事業におきましては、ハマチ飼料類及び養殖用稚魚等の販売は増加しましたが、マダイ飼料類が減少した結果、売上高は38億19百万円と前年同四半期と比べ1百万円の減収となりました。セグメント利益は、原材料及び運賃等の値上がりと為替差損により91百万円と前年同四半期と比べ1億82百万円（66.6%）の減益となりました。

#### 食品事業

食品事業におきましては、即席めん類及びそうめん類の販売が増加した結果、売上高は9億3百万円と前年同四半期と比べ1億27百万円（16.4%）の増収となりました。セグメント利益は、原材料及び資材等の値上がりはありましたが、売上高の増収と経費削減の効果により87百万円と前年同四半期と比べ54百万円（166.2%）の増益となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度と比べ7億38百万円増加し、97億12百万円となりました。これは、主として現金及び預金が3億46百万円、原材料及び貯蔵品が2億4百万円、建物及び構築物が26百万円、機械装置及び運搬具が50百万円減少したものの、当社グループの業況の季節的要因により、受取手形及び売掛金が13億38百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度と比べ7億76百万円増加し、55億65百万円となりました。これは、主として当社グループの業況の季節的要因により買掛金が6億91百万円、運転資金の調達により短期借入金が1億37百万円、その他の流動負債が1億35百万円増加し、長期借入金が1億52百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度と比べ38百万円減少し、41億46百万円となりました。これは、主として四半期純損失の計上と配当金の支払いにより利益剰余金が60百万円、繰延ヘッジ損益が29百万円減少し、海外子会社の為替換算調整勘定が48百万円増加したことなどによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間と比べ1億41百万円増加し5億64百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって支出した資金は2億24百万円（前年同四半期は6億61百万円の支出）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益73百万円、減価償却費1億61百万円、たな卸資産の減少額2億4百万円、仕入債務の増加額6億95百万円などの資金の増加要因があった一方で、売上債権の増加額13億56百万円、法人税等の支払額32百万円などの資金の減少要因があったことなどによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって得られた資金は3億2百万円（前年同四半期は3億4百万円の収入）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出が77百万円、定期預金の預入による支出が3億9百万円となりましたが、定期預金の払戻による収入が7億12百万円あったことなどによるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって得られた資金は28百万円（前年同四半期は3億4百万円の収入）となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出1億50百万円及び配当金の支払額42百万円がありましたが、短期借入金の増加額2億21百万円があったことなどによるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間のグループ全体の研究開発費の総額は73百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,900,000
計	17,900,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,746,000	4,746,000	福岡証券取引所	単元株式数は 100株であります。
計	4,746,000	4,746,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		4,746		603,900		393,400

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
東 紘一郎	鹿児島県日置市	628	13.23
東 勤	鹿児島県鹿児島市	575	12.11
東 実	鹿児島県日置市	575	12.11
東 吉太郎	鹿児島県日置市	527	11.10
東 久江	鹿児島県日置市	380	8.00
エスト有限会社	鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉887 - 1	227	4.78
ヒガシマル共栄会	鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地	169	3.57
株式会社鹿児島銀行	鹿児島県鹿児島市金生町 6 - 6	165	3.47
鹿児島リース株式会社	鹿児島県鹿児島市山之口町 1 番10号	120	2.52
ヒガシマル従業員持株会	鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地	80	1.69
計		3,447	72.63

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 40,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,705,000	47,050	
単元未満株式	普通株式 200		1 単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	4,746,000		
総株主の議決権		47,050	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヒガシマル	鹿児島県日置市伊集院町 猪鹿倉20番地	40,800		40,800	0.85
計		40,800		40,800	0.85

2 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役	専務取締役	東 勤	平成23年7月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,156,153	809,276
受取手形及び売掛金	1,231,276	2,570,024
商品及び製品	443,803	453,011
仕掛品	91,431	71,556
原材料及び貯蔵品	1,054,250	849,571
その他	185,401	217,341
貸倒引当金	2,813	2,472
流動資産合計	4,159,502	4,968,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,193,805	1,167,191
機械装置及び運搬具(純額)	874,944	824,170
土地	1,763,746	1,763,746
その他(純額)	49,010	49,912
有形固定資産合計	3,881,507	3,805,020
無形固定資産	49,993	44,600
投資その他の資産		
投資その他の資産	926,573	937,965
貸倒引当金	43,813	43,813
投資その他の資産合計	882,759	894,151
固定資産合計	4,814,260	4,743,772
資産合計	8,973,763	9,712,081

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	406,035	1,097,970
短期借入金	1,766,632	1,904,000
未払法人税等	35,827	76,988
賞与引当金	92,830	48,947
その他	430,012	565,682
流動負債合計	2,731,338	3,693,588
固定負債		
長期借入金	1,066,000	914,000
退職給付引当金	37,122	38,521
役員退職慰労引当金	478,795	442,690
その他	475,937	477,002
固定負債合計	2,057,855	1,872,213
負債合計	4,789,193	5,565,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,473,609	3,413,104
自己株式	28,938	28,938
株主資本合計	4,506,971	4,446,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,061	16,349
繰延ヘッジ損益	292,467	321,569
為替換算調整勘定	42,996	5,033
その他の包括利益累計額合計	322,401	300,186
純資産合計	4,184,569	4,146,279
負債純資産合計	8,973,763	9,712,081

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,597,407	4,723,153
売上原価	3,802,925	4,015,785
売上総利益	794,482	707,368
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	184,353	197,915
貸倒引当金繰入額	138	-
給料及び賞与	119,701	122,893
賞与引当金繰入額	32,232	1,809
役員退職慰勞引当金繰入額	7,180	5,478
その他	268,489	260,272
販売費及び一般管理費合計	612,095	588,369
営業利益	182,386	118,998
営業外収益		
受取利息	1,779	366
受取配当金	2,059	2,074
受取保険金	7,339	1,530
役員退職慰勞引当金戻入額	-	40,943
雑収入	7,688	10,282
営業外収益合計	18,866	55,197
営業外費用		
支払利息	14,131	12,446
為替差損	9,290	93,283
雑損失	2,440	1,578
営業外費用合計	25,862	107,308
経常利益	175,390	66,887
特別利益		
投資有価証券売却益	-	851
補助金収入	-	6,285
特別利益合計	-	7,137
特別損失		
固定資産除却損	424	97
投資有価証券売却損	-	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,645	-
特別損失合計	13,069	105
税金等調整前四半期純利益	162,321	73,919
法人税、住民税及び事業税	104,233	73,263
法人税等調整額	6,205	18,814
法人税等合計	110,439	92,077
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	51,881	18,158
四半期純利益又は四半期純損失( )	51,881	18,158

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	51,881	18,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,955	3,288
繰延ヘッジ損益	163,845	29,102
為替換算調整勘定	5,315	48,029
その他の包括利益合計	164,485	22,214
四半期包括利益	112,603	4,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,603	4,055
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	162,321	73,919
減価償却費	164,336	161,847
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,645	-
補助金収入	-	6,285
賞与引当金の増減額(は減少)	2,229	43,791
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,180	36,105
退職給付引当金の増減額(は減少)	-	1,398
固定資産除売却損益(は益)	424	97
投資有価証券売却損益(は益)	-	843
受取利息及び受取配当金	3,839	2,440
支払利息	14,131	12,446
為替差損益(は益)	2,902	47,073
売上債権の増減額(は増加)	1,228,908	1,356,574
たな卸資産の増減額(は増加)	311,889	204,260
仕入債務の増減額(は減少)	574,817	695,174
その他	24,525	59,781
小計	579,123	190,040
利息及び配当金の受取額	5,920	3,056
利息の支払額	15,501	13,122
法人税等の支払額	72,382	32,314
その他の収入	-	7,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	661,086	224,888
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	804,452	309,066
定期預金の払戻による収入	1,034,400	712,552
有価証券の償還による収入	170,000	-
有形固定資産の取得による支出	83,146	77,688
投資有価証券の取得による支出	2,556	16,934
投資有価証券の売却による収入	-	3,113
その他	10,228	9,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	304,016	302,070
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(は減少)	373,076	221,266
長期借入金の返済による支出	26,680	150,100
配当金の支払額	42,346	42,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	304,050	28,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,266	49,393
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	59,286	56,608
現金及び現金同等物の期首残高	482,937	508,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	423,650	564,810

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、成育が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。

したがって、第2四半期連結累計期間及び第3四半期連結累計期間において売上高が大きく増加する傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び預金	1,111,815千円	809,276千円
預入期間が3か月を超える定期預金	688,165	244,466
現金及び現金同等物	423,650	564,810

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	42,346	9	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	42,346	9	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,821,302	776,105	4,597,407		4,597,407
セグメント利益	273,840	32,874	306,715	131,325	175,390

(注) 1 セグメント利益の調整額 131,325千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費101,008千円、営業外収益3,428千円、営業外費用33,745千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,819,467	903,686	4,723,153		4,723,153
セグメント利益	91,374	87,517	178,892	112,005	66,887

- (注) 1 セグメント利益の調整額 112,005千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費82,201千円、営業外収益32,348千円、営業外費用62,151千円であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失( )	11円03銭	3円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失 ( )(千円)	51,881	18,158
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失( )(千円)	51,881	18,158
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,705	4,705

- (注) 1 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

株式会社ヒガシマル  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 川 畑 秀 二 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 只 隈 洋 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヒガシマルの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヒガシマル及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。